

ミツバチが農作業の省力化に一役

とよたの梨 受粉作業始まる



豊田市南部の福受（ふくじゅ）地区のJAあいち豊田梨部会（部会長：梅村 長史）は、梨の開花に合わせてミツバチによる梨の受粉作業を開始します。多くの品種の梨は、異なった品種でないと受粉しない性質を持っているため、同部会では、ミツバチを使った受粉作業を50年以上前から行っています。同部会では、市内の養蜂家からミツバチを借り受け、同地区の畑（面積：約3.2畝／梨の木の本数：約1,000本）のうち約8割程度をミツバチによる受粉作業とすることで、農家の作業量軽減に役立っています。

受粉作業は花の状態を確認しながら10日～2週間ほど続けられます。今年は寒い日が続いたため、昨年より2日遅い作業開始となる予定です。

同部会は、7月20日ごろから「愛甘水」「あけみず」の収穫を開始し、8月上旬には主力品種である「幸水」、11月にはジャンボ梨「愛宕」を収穫するなど、合計9品種を「とよたの梨」として順次出荷する予定です。



△白い花が咲く梨園をミツバチが飛びかう風景が撮影できます

令和7年 JAあいち豊田梨部会 概況

栽培面積：21畝（猿投・福受地区）

栽培農家（部会員）：34戸

出荷量（令和6年選果場出荷量）：285ト

取材日

取材日時：2025年4月14日（月） 午前10時

【雨天予備日 4月15日（火） 予定】

集合場所：福受梨組合集荷場（豊田市福受町中ノ切26番地）

※取材の梨園は別の場所です。JA職員がご案内いたします。

※取材希望の方は、下記までご連絡をお願いします。

担当者不在の場合は、広報課（0565）31-2361へご連絡ください。

お問い合わせ先：

JAあいち豊田 営農生活部 猿投営農センター 選果場 担当：伊藤・中野

〒470-0373 豊田市四郷町森前南26番地4 電話（0565）46-2217

または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

